



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2021.7.9
№309

「臭くて窓を開けていられない、何とかして！」の 住民からのご要望に答えて

西塩沢区・町議団



町長(左)に要望書を手渡す西塩沢区長・田中議長・今井清議員・村田

7月2日、西塩沢区として、町長に西塩沢西側に位置する豚舎の臭い対策を求める要望書を提出しました。

豚の排出物の臭いが西風に乗って西塩沢や桐原集落まで臭い、窓を開けることが多くなったこの頃では苦情が寄せられていました。

西塩沢区はこれを受けて町長に陳情書を提出。3人の議員も同席しました。(産業振興課も同席)

これを受け7月5日にさっそく、現地で事業者と町・県の職員とで話し合いがもたれ、一定の改善策が話し合われました。村田も同席。対策の進行状況について

役場では2週間おきに現地に出向き、確認することとなりました。区や町の素早い対応に期待がもたれます。



ここに土嚢袋をおく

野積の排出物と共に、雨が浸み込み流れ出て、くぼみにたまり、雨と一緒にし尿の混じった水が道路に流れ込み、臭いの素となっています。

事業所では「道路に流れ込まないように土嚢を置く」としています。



天からのもらい水

今週のパチリ！

ユリの花が住処？



梅雨空に明るく光を放つ百合の花が咲きました。切って玄関に飾ろうと近づくと、なんとカタツムリがジャンと座っていました。居心地が良いのでしょうか。じっとすわっていました。

可憐なネジバナ



緑の芝の中にピンクのろうそくのようなネジバナ。小さな花の集まりです。ランの仲間。どことなく気品があります。

東京都議選 議席増と共闘の勢いを総選挙に！

都議選へのご支援・ご協力に感謝いたします。日本共産党は、改選前の18議席から19議席に前進しました。

しかも、今回の勝利は2013年、17年に続いて3連続勝利を勝ち取りました。これは、革新都政時代にかけての1965年から73年の3連勝以来、半世紀ぶりのことです。

また、市民と野党の共闘でも重要な前進ができました。立憲民主党などと1人区、2人区、一部3人区で候補者調整ができ、文京区、豊島区、日野市、北多摩4区、北区などで党候補が勝利し、わが党が支援した7選挙区でも勝利しました。候補者調整という共闘でしたが、お互いに支援して実質的に共闘が進みました。

菅自公政権が都議選で大打撃を被り、どう立て直すか深刻な事態に追い込まれています。都議選での確信を活かし、総選挙に向け日本共産党の躍進と市民と野党の共闘の成功のため全力を尽くします。

日本共産党佐久地区委員会

9条を守る立科の会で「時代の先駆者をたずねて日帰りの旅



山本宣治の記念碑

戦争に突き進むために治安維持法が改悪されようとした国会で反対演説をしようとした前夜、右翼に刺殺された労農等の代議士。上小農民組合の相談や産児制限などにも貢献した氏の業績をたたえて建立された。氏の生き方に触れ、私も頑張ろうと思いました。

明治生まれの平塚らいてう・本名、明(ハル)は、女性の自立・女性の地位向上を求めて雑誌『青鞥(とう)』を発行。第一次大戦後、市川房枝らと新婦人協会を結成し、消費組合・医療組合にも参加。第2次大戦後は、憲法9条に共鳴、「非武装・非交戦」の立場から原水爆禁止、軍事基地反対、ベトナム戦争反対、母親運動を進めた時代の先駆者です。



平塚らいてうの愛用品

説明を受けて、明治の家父長制度の下、女性の「人としての権利・自由」を求めて果敢に発言し、行動したまさにジェンダー平等の先駆者です。

世を挙げての攻撃に抗って、「わたくしの敵はただ戦争だけ」と平和を訴え行動し続けたらいてう。

らいてうに続く勇氣ある女性たちが増えています。

佐久地区市民と野党との共闘会議

7月17日(土)午後4時から佐久平交流センター「市民対話集会」に集まろう

佐久地区市民と野党との共闘会議が主催する「総選挙で政治を変えよう！市民対話集会」(17日)が迫りました。会場は第5会議室ですが、コロナ対応で90名位に制限。

立民の神津健予定候補も参加します。お誘い合せて参加をお願いします。

蓼科農ん喜村 青空市

7月18日(日)10:00~17:00

新鮮野菜・花・屋台・キッチンカーなど通出店予定

・抗体検査ブースでの検査体験ができます。血液を自分で1適取って検査機に入れると8分で結果が出るそうです。

森の小さなコンサート 8・1(日)10:00~



会場/
蓼科野外音楽堂

細谷大正琴 美音の会
フルート・ピアノアンサンブル
リコーダーアンサンブル
—お昼—
バンドSHINDENの風
シンガーソングライター羅針



「どうなる？私たちの足」 —公共交通を考える 出前講座—

7月21日(水)13:30~立科町中央公民館
公共交通について、町職員から説明をしてもらい 佐久市・東御市からの報告を予定。公共交通について住民の声を聴いてもらうチャンスです。ぜひ、ご参加ください。車の送迎します。

☎090-9144-8534 村田まで